

回覧

C・Sだより

コミュニティ スクール

『東益津小中学校運営協議会』広報

令和 7年 4月 No. 37

5年目C・S活動の“3本柱”

☆ I 『地域の楽校』を推進する

◎ 3/22 第28回「やきつべの里フォーラム総会」



3月22日、第28回「やきつべの里フォーラム総会」が山の手会館で実施されました。市長・教育長様をはじめ、多くの来賓の皆様のご臨席を頂き、盛大な総会・交流会となりました。

『みんなで東益津を良くしよう。地域の子どもを地域で育てよう』という合言葉のもと、平成9年に7団体で結成されたフォーラムが、今では16団体約500人の総会員数となっています。

各団体はそれぞれ独自活動を行いつつ、共通の協力事業として①ふるさとジュニアカレッジ、②たかくさ森の楽校、③米づくり体験活動に取り組んできました。そして、4年前の「CS」発足と共に、④東中生の「地域貢献活動」にも協力しています。

更に、⑤「東益津チャレンジ」支援が新たに加わりました。

『地域を愛する益津の子』の育成を目指して

地域で仲間と一緒に元気に楽しく意義ある活動に取り組む大人たちの“楽校”＝CSに、子どもたちを招き入れてもらうことで、子どもたちは東益津の豊かな自然や歴史・文化や魅力的な大人とふれ合いながら、楽しく遊び豊かに学び価値ある体験をすることができます。地域への愛着や誇りが育っていくことでしょう。

「大人のC・S」と「子どものC・S」の“相乗効果”

子どもたちが元気に活動する姿を見ていると、大人たちも新たな元気がわいてきます。CS活動を通じて、子どもも大人も元気な“地域づくり”につながることを期待しています。

☆Ⅱ 東中生の活動を『地域の活性化』につなげる

東中生の『地域貢献活動』は地域に“元気な風”を吹き込んでくれています。特にお祭りでの『店番さん』は、お祭りを楽しく盛り上げ、幼児や小学生にとって“あこがれ”にもなっています。



「地域防災訓練」において、東中生が前面で活躍し大人が後ろで見守るといふ姿がたくさん見られるようになってきました。



様々な地域活動の中に、東中生が積極的に『やってみよう』と参加し、大きな成果を示してくれています。東中生の『やってみよう』に寄り添いたいものですね。



☆Ⅲ 「東益津チャレンジ」への支援を推進す



縁あって東益津に開設された「チャレンジ」の皆さんを温かく迎え入れ、地域の温かさをたっぷりと感じ取り、心に元気を充電してほしいと願います。『東益津地域の楽校』ならではの豊富な活動メニューをプレゼントしたいものです。ご協力ください。